

トピックス

(報告) 庁内グループ研究支援事業 ～ソーシャル・キャピタルを活用した南部地域活性化～

とよなか都市創造研究所は市職員の政策形成能力の向上を目的に様々な事業を展開しています。令和3年度(2021年度)は人事課と共催し標題の研究支援事業を実施しました。

地域政策を進める際にソーシャル・キャピタル(以下「SC: Social Capital」)を活用する視

点が注目されています。本事業では、地域活性化が課題となる市南部地域を取り上げ、地域課題の解決やまちの魅力創造を進める上でのSCの活用をテーマに5名の公募職員による調査研究・政策提言を行いました。

◆研究参加者

(公募研究員(市職員))

所属	名前
都市経営部 創造改革課創造改革係	上保 直人
こども未来部 こども政策課企画調整係	内田 哲
教育委員会事務局 学び育ち支援課運営係	梅野 崇宜
財務部 資産管理課明示係	中西 由美子
福祉部 地域共生課地域共生推進係	室田 貴子



(事務局) 主管課 とよなか都市創造研究所 石村知子・比嘉康則・平田誠一郎・松田泰郎
人事課研修係 長谷川万里子・前田直也

◆活動経過

回	テーマ	日程	内容
1	オリエンテーション・研究会	令和3年(2021)年 6月30日(水)	自己紹介・オリエンテーション
2	キックオフ講座	8月20日(金)	「見える資源・見えない資源の見つけ方」 講師: 山下 香さん(甲南女子大学文学部准教授)
3	とよなか地域創造塾の講座受講	9月18日(土)	「ソーシャル・キャピタルの見つけ方」 講師: 金谷信子さん(広島市立大学国際学部教授)
4	研究会	9月29日(水)	研究テーマの設定、研究目的に関する議論
5	南部地域のまちあるき	10月6日(水)	フィールドワークによる南部地域の現状把握・地域資源・地域課題の発見等
6	とよなか地域創生塾の講座受講	10月30日(土)	「地域資源の見つけ方」 講師: 後藤 良輔さん(豊中市都市経営部秘書課課長)
7	研究会	12月7日(火)	南部地域の現状と課題、SCの活用方策の検討
8	研究会	12月15日(水)	政策提言の検討
9	研究会	12月21日(火)	政策提言の検討・庁内照会の検討
10	研究成果報告会	令和4年(2022)年 3月3日(木)	時間: 14時~15時 場所: 市役所別館3階研修室 会場参加及びZoom配信による開催

トピックス (報告) 庁内グループ研究支援事業

◆研究目的・手法

南部地域では市内の他地域に比べ少子化・高齢化が進んでいます。南部地域の現状・課題を踏まえ、研究では南部地域の子どもと親に焦点をあて、①地域の子どもや親の実態把握②子どもや親の支援団体の把握③地域のSCの整理④SCの空間的把握の4点を研究目的とし地域の課題を解決し子育て世代が住み続けたい・訪れたいまちづくりに向けた提言を検討しました。

研究を進めるにあたっては、本研究所主催のとよなか地域創生塾と連携し塾の講座を市民参加者とともに受講し地域課題の理論を学ぶとともに、まちあるきや関係者へのインタビュー、SCに関する庁内照会等の調査を実施しました。

◆研究成果

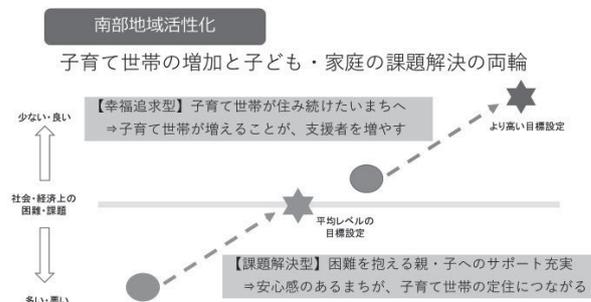
調査結果をもとに以下の3点を政策提言としてまとめました。

- ①南部地域活性化の考え方
- ②SCをつなぐ南部地域活性化コンソーシアムの形成
- ③SC醸成の場を補完するサテライト機能の検討

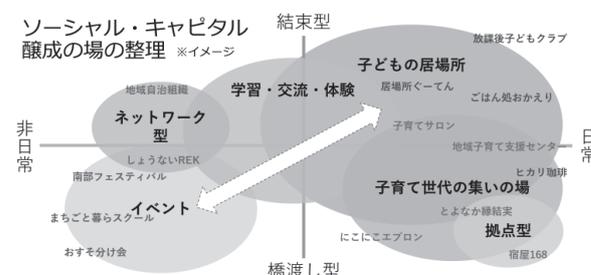
①では図表1のとおり本研究における活性化の考え方を示しました。②では南部地域のSC醸成の場(図表2)を整理し、これらを縦断的につなぎ、調整するコンソーシアムの検討を行いました。さらに地理情報システム(GIS)でSC醸成の場をプロットし(図表3)公共の場を中心にSC醸成の場が作られていることを可視化したうえで③その空白地を補完するサテライト機能の必要性を提言しました。研究成果は令和4年(2022年)3月3日に庁内報告会で報告した他、同年10月29日にとよなか地域創生

塾の講座でも発表し、活発な質疑応答がなされました。

①南部地域活性化の考え方



図表1 南部地域活性化の考え方



・結論型〜橋渡し型まで混在するが、カテゴリ間の連携で様々な機会・選択肢が増加
・カテゴリ間を横断的につなぎ・調整するプラットフォームが必要

図表2 南部地域活性化コンソーシアムの形成



図表3 SC醸成の場を補完するサテライト機能の検討

執筆者:

石村 知子 (豊中市都市経営部とよなか都市創造研究所)